

卒業生の意見を本学の教育・研究の改善に繋げるためのアンケート（今後の対応）

卒業生の皆様から頂いた貴重なご意見・ご提案を踏まえて、広島大学の教育・研究、大学運営の充実に向けた取り組みを行うとともに、更なる改善に向けた検討を行っています。

## 1. 大学生生活全般について

本学では、大学生生活全般において学生一人一人が社会で通用する基礎力及び実践的応用力を身につけることの重要性を認識しています。

そのための具体的方策として、学生の自発的活動を尊重することを目的とし、授業等の改善、海外留学・インターンシップの推進、地域活動、課外活動及びボランティア活動への支援を行っています。

今後も引き続き、皆様からのご意見等を踏まえ、検証・改善に努めて参ります。

## 2. 教養教育について

教養教育では「幅広く深い教養と総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養する。」という教育理念の下で、社会情勢の変化なども考慮し、平成23年度に平和科目群の新設、英語教育の充実（6単位から8単位への変更）、パッケージ別科目の再編成及び科目区分の見直しなどを行う新カリキュラムの導入を実現しました。また、その後も学内・学外から寄せられた意見を参考にして、成績評価に関するガイドラインの導入や、平成28年度から広島地区学生を対象とした東千田未来創生センターでの教養教育科目の実施など、教育の質を保証するための様々な改善を行っています。

なお、今回のアンケート調査では、社会に出てから教養教育を学ぶことの重要性に気付いたという意見や、在学中にもっと教養教育を学ぶ意義を伝えて欲しかったという内容の要望が多数寄せられました。これらの意見・要望についての主な改善・取り組み内容は次のとおりです。

- (1) 入学直後に実施する「教養教育ガイダンス」について、教養教育の意義及び重要性を伝えることができる、より分かりやすい内容への変更及びその継続的な改善
- (2) 教養教育科目において、授業に対話型（アクティブ・ラーニング）の内容を導入することの推奨及び導入を促進するためのFD（ワークショップ）の定期的な開催
- (3) 新規に教養教育の授業を担当する教員を主な対象とした、本学における教養教育の理念・目的を説明し、授業実施に役立ててもらうことを目的とした研修会の開催。また、教員間の授業参観と意見交換を行う場を設けることで、それぞれの授業改善を促すFDの開催
- (4) 学部1年生を主な対象に、グローバルキャリアデザインセンターの相談員（企業や公務員の人事・管理職経験者）や、キャリア教育のエキスパート等が講師陣となり、社会へ出る土台となる社会人力を高め、教養を身につけることを目的として、平成28年度から教養教育科目「キャリア教養講座 - 世界に通用する高い社会人力を身につける -」を開講

### 3. 専門教育について

幅広い視野から物事を捉え、高い倫理性に裏打ちされた的確な判断を下すことの出来る人材育成のための主な取り組みとして、学士課程において次に掲げる教育を行っています。

- (1) 到達目標型教育を実現するための教育プログラムの実施・検証・検証改善
- (2) 問題発見解決能力向上のため教育（PBL教育）  
－相手の立場で理解する能力の育成・専門外の考え方を含め、まとめる能力の育成－
- (3) 卒業時における外国語運用能力向上のため全在学期間にわたってのTOEIC(R) I Pテストを実施（グローバル化社会に向けての対応）
- (4) 教育の質保証（授業改善等）のための新任員研修義務化

本学では、留学やボランティア活動といった学生の自主的な学習体験の促進や、授業を短期間で集中的に受講することによる教育効果の向上等を目的として、平成28年度からクォーター制（4学期制）を本格的に導入しています。このことにより、例えば、従来は同じ学期で開講していた積み上げ型の授業科目を別々のタームで実施できるようになり、一つの授業科目に対し重点的に予習・復習に取り組めるようになりました。

今後も引き続き、皆様からのご意見等を踏まえながら検証・改善に努めて参ります。

### 4. 学生支援について

本学に入学された皆さんが、卒業されるまで充実した学生生活が送れるよう、あらゆる学生生活のサポートを行っています。

本学では、経済支援制度として、入学料免除・徴収猶予制度や授業料免除制度、広島大学修学継続奨励金制度などを実施しています。

また、従来の貸与型奨学金だけでなく、広島大学独自の給付型奨学金（フェニックス奨学制度・広島大学エクセレント・スチューデント・スカラシップなど）を設置し、経済的に困窮している学生を支援しています。

制度についての周知は、広島大学HPの「教育・学生生活」→「学費・奨学金等」から、情報を得ることができるようになっています。申し込み方法・応募要件などの詳細についてはリンク先の「もみじ」で周知しています。HPだけでなく、授業料免除についての説明会を4月に東広島地区・霞地区で1回、東千田地区で1回の計2回、奨学金は東広島地区・霞地区で2回、東千田地区で1回の計3回実施し、周知徹底に努めています。

今回のアンケート調査で、充実・改善の要望があったもので、一番多く上げられました進路・就職についての主な改善・取り組み内容は次に掲げるとおりです。

- (1) 大都市圏（東京・大阪）での就職活動を希望する学生支援として、就活支援ツアーを企画し、校友会等組織と連携して現役学生と卒業生との交流の場の設定
- (2) 卒業生を学内に招聘し、卒業生セミナーを実施
- (3) 進路が決まった学生の協力を得て、就職活動を行う後輩に対して自らの体験をもとにサポートをしてもらうキャリアサポーター制度の充実
- (4) 広島大学消費生活協同組合と連携し、試験対策講座を実施する等、公務員・教員の就職対策を充実
- (5) 東京オフィス等と連携し、首都圏や関西圏で就職活動を行う学生への休憩スペースを提供
- (6) 広島県、広島市をはじめ、様々な自治体・企業と連携することにより、学生のインターンシップ参加を促進
- (7) 情報を閲覧しやすくするために、グローバルキャリアデザインセンターのホームページを改修
- (8) 就職活動の進め方について、職員が講義形式で指導、また約 10 人の相談員がグローバルキャリアデザインセンターで面談対応

今後も引き続き、皆様からのご意見等を踏まえ、検証・改善に努めて参ります。